様式第10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

1871—1270 1770 1771 1771 1771 1771 1771 1771				
地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間	
高知県南国市	南国市	平成28年度~令和2年度	平成28年度~令和2年度	

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指標		現 状	目標	実 績	実績
		(令和 年度)	(令和 年度) A	(令和 年度) B	/ 目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	t	%
	1事業所当たりの排出量	t	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	t	%
	1事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	t	%
	総資源化量	t	t	t	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量(年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。 (生活排水処理)

指標		現状	目標	実績	実績
1日 /示		(平成27年度)	令和2年度) A	テー領 (令和2年度) B	大順
		(干)双石 干受)	1, 1, 1, 2	(中作2十分) D	/ 口惊
総人口		47,983 人	47,336 人	46,719 人	_
公共下水道	汚水衛生処理人口	16,677 人	17,415 人	16,336 人	93.80%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	34.76%	36. 79%	34. 97%	10.34%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	3,564 人	3,325 人	3,326 人	100.03%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	7.43%	7.02%	7. 12%	75.61%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	18,285 人	20,511 人	19,598 人	95. 55%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	38.11%	43. 33%	41.95%	73. 56%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	9,457 人	6,085 人	7,459 人	122. 58%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

循環型社会形成推進地域計画(平成28年度〜令和2年度)において合併処理浄化槽等汚水処理人口普及率が目標を達成できなかった要因としては、南国市における人口分布の偏りがあげられます。平成28年3月末における市内人口は、47,983人(21,840世帯:一世帯あたり人口2.197人)であり、令和3年3月末においては、46,719人(22,257世帯:一世帯あたり人口2.099人)となっており、1,264人の人口減少とともに一世帯あたりの人口も減少しています。

また、下水道認可区域が中心となっている大篠地区においては、同時期比較で人口では844人、世帯数では598世帯増加しており、当初計画よりも合併処理浄化槽汚水衛生処理人口の一部が公共下水道汚水衛生処理人口へ移行したと思われます。

公共下水道、集落排水施設等、合併処理浄化槽等を合わせた汚水処理人口普及率については、平成27年度末80.29%、令和2年度目標87.15%、令和2年度実績84.03%と向上していますが、市の人口減少を抑えることができなかったことと、人口分布の偏りが合併処理浄化槽等による汚水処理人口が想定の59%しか増加しなかったことで普及率の目標を達成できなかった要因であると考えられます。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和7年度まで

南国市においては、人口減少に歯止めをかけ、定住人口の増加を目指して各種施策を講じているところであり、環境課においては浄化 槽設置整備事業をはじめ住宅用太陽光発電システム設置に対する補助制度を実施するなどしています。

こうした中で浄化槽設置整備事業においては、既存住宅における汚水処理が促進されるよう新築住宅への補助金額より、既存住宅への補助金額を高く(5人槽・7人槽・10人槽とも60,000円高)設けており、このことを一層広報し単独浄化槽等からの転換をすすめることで未処理人口を減らすよう努力していきたいと考えています。

今後も、新たな循環型社会形成推進地域計画(令和3年度~令和7年度)の目標達成に向け、引き続き浄化槽設置整備事業に取り組んでまいります。

(都道府県知事の所見)

浄化槽については、計画の整備基数 500 基に対して実績は 418 基と 83.6%の整備率であった。また、1 世帯あたりの人口が減少し	ている
こともあり、処理人口及び普及率は目標を下回った結果となったと推測される。	
今後も、単独処理浄化槽からの転換を含む浄化槽の設置整備事業の継続及び人口減少対策を併せて実施することで、汚水処理人	口普及
率が着実に向上していくことが期待される。	